

外来医療計画の策定について

県外来医療計画策定経過において南薩保健医療圏地域医療構想調整会議委員から出された意見のうち、協議が必要と考えられる意見は以下のとおり

協議事項：南薩圏域における公共交通の現状と医療・介護と連携した今後の公共交通の在り方について

【意見原文】

- ・ 日常の療養診療については検討せずとしているが、2030年以降も訪問診療する医師は充足しているのか？移動手段を持たない高齢者が益々増えてくるが、これに対してどのような対応を取っていく予定なのかを知りたい。
- ・ 併せて各市の行政サービスはどうなっているのかを知りたい。医療機関と行政が上手くリンクしていくことが必要と感じているが、将来的なビジョンを聞かせてもらいたい。

参考)

外来医療計画 検討内容報告書（一部抜粋）

項目名		医療圏名
在宅医療の提供体制		南薩保健医療圏

2 「将来目指すべき姿」及び「その他の意見」について議論の場で出た内容を記載ください。

将来目指すべき姿，その他意見
<p>(その他の意見)</p> <p>今後移動手段を持たない高齢者の増加が予想されている。(移動手段が確保できなければ継続受診が不可能となり、在宅での生活が難しくなる。また在宅医療を担う医師の高齢化や減少に伴い訪問診療や往診の体制維持も難しくなることが予想される。)</p> <p>今後、医療機関と行政が協働でデマンド型交通を利用した医療機関受診にかかる交通手段の確保に関する検討を行うことが必要。</p> <p>※現在のコミュニティバスでは医療機関受診においては、患者の滞在時間が制約され、十分な検査や治療が受けられなかったり、同じ便を利用する患者の受診予約希望が重複し、待ち時間が延長されるといった問題も生じている。</p>